

ブルンジ月報（2020年6月）

主要な出来事

1 内政

- 1日，5月20日の大統領選挙他に係る野党からの訴状提出
- 8日，ンクルンジザ大統領の逝去
- 18日，ンダイシミエ新大統領就任
- 23日，バゾンバンザ副大統領及びブニヨニ新首相の就任

2 その他

- 3日，ブルンジ報道組合（BJA）の新規発足

※以下は、明示的に記載したものを除き、ブルンジ・オンライン・メディア IWACU の報道の取りまとめ。

1 内政

（1）野党CNL党からの大統領選挙他に係る訴状提出（1日）

5月28日，野党第一党であるルワサ（Agathon RWASA）CNL党首は，20日に行われた大統領，議会下院，地方議会のトリプル選挙に関して，与党CND D-FDDによる不正行為行為があったとして，憲法裁判所へ訴状を提出した。

（2）ンクルンジザ大統領の死去（9日）

8日，ンクルンジザ大統領が心停止により死去した。6日，同大統領は，体調不良を訴え入院し，7日には付添いの者と会話ができる程に回復したが，8日午後に体調が急変した。9日から7日間，ブルンジは服喪週間となった。

（3）ンダイシミエ大統領の就任（18日）

5月20日の選挙で勝利し，8月に就任予定であったンダイシミエ与党CND D-FDD幹事長は，8日のンクルンジザ大統領の死去により，予定を前倒しして18日に大統領に就任した。

（4）副大統領及び首相の就任（25日）

23日，バゾンバンザ（Mr. Prosper BAZOMBANZA）副大統領及びブニヨニ（Gen. Alain Guillaume BUNYONI）首相が任命され，24日，国会にて就任宣誓式が行われた。2018年改正の新憲法が施行したことにより，副大統領は2名から1名となり，首相職が新設された。

2 その他

（1）ブルンジ報道組合（BJA）の新規発足（4日）

3日，ブルンジ報道連盟（BJA）が発足した。ニカイエンジ（Melchior

NICAYENZI) 同連盟長は、BJAは、2015年の大統領選挙に際し活動停止となったブルンジ報道組合(UBE)とは別組織であり、報道の自由とジャーナリストの権利の保護、強化を目指すと説明した。一方、2019年10月にIWACUの記者など4名が逮捕された件には関与せず、経緯を見守ると述べた。複数のジャーナリストからは、同組織の設立根拠となる法令が明らかになっておらず、加盟に値しないとされている。

(了)